

## 長崎市提案型協働事業 平成 28 年度実施事業

### 評価結果及び審査会コメント

#### ◆評価項目及び評価結果

団体名	ながさきダンカーズ倶楽部	担当課名	高齢者すこやか支援課
事業名	長く元気で！応援事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	<b>A</b>
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	<b>B</b>
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	<b>C</b>
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	<b>B</b>
総括		<b>B</b>	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている      B…優れている      C…どちらともいえない  
D…どちらかといえば不十分である      E…不十分である

#### ◆審査会コメント

協働のプロセスのなかで、団体と担当課が信頼関係を築き、互いの強みを発揮しながらガイドブック作成やイベント開催など充実した取り組みができており評価できる。

事業の中で、出前講座の新たな展開やホームページでの積極的な情報発信については、様々な要因はあったと思うが、実績を高める余地があったのではないかと。例えば、出前講座では、一斉に行う講義形式以外にも、少人数を対象にして個別に訪問するなど、方法を工夫して取り組んでほしい。また、今回の事業から生まれた、50代から人生の楽しみ方を考える「アラカン倶楽部長崎」については、「ながさきダンカーズ倶楽部」とのコンセプトの区分を明確にして役割分担を行い、新たな参加者へのアプローチや、参加する市民の満足度を高めていく次の事業展開をしっかりと組み立て、さらなる活動の充実につながるよう期待する。

## 長崎市提案型協働事業 平成 28 年度実施事業

### 評価結果及び審査会コメント

#### ◆評価項目及び評価結果

団体名	(特非)長崎ウェルネススポーツ研究センター	担当課名	健康づくり課
事業名	アクティブ世代のスポーツライフ支援事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	A
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	A
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	B
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	A
総括		A	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている      B…優れている      C…どちらともいえない  
D…どちらかといえば不十分である      E…不十分である

#### ◆審査会コメント

団体と担当課とがしっかりと問題意識を共有し、対象者、事業内容がしっかりと組み立てられた中で取り組まれ、効果の高い協働事業となっていた。提案型協働事業のロールモデルとして、ノウハウをほかの団体に広めることにも協力してほしい。

ノルディックウォーキングという種目での展開は、広く市民の注目を得やすいものではないが、健康づくりに取り組む人を増やす目的のなかで、一つの種目として習慣化するしくみができただけでも高く評価できる。

今後も、団体のメンバーでのノウハウの共有を図りながら、ノルディックウォーキングを広めていただくことで、長崎の地形を生かした長崎らしい新しい観光資源の一つとなることにもつながる可能性を感じるので、今後の展開に期待する。

## 長崎市提案型協働事業 平成 28 年度実施事業

### 評価結果及び審査会コメント

#### ◆評価項目及び評価結果

団体名	長崎町人町プロジェクト	担当課名	まちなか事業推進室
事業名	長崎文化再生事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	<b>B</b>
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	<b>D</b>
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	<b>B</b>
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	<b>C</b>
総括		<b>C</b>	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている      B…優れている      C…どちらともいえない  
D…どちらかといえば不十分である      E…不十分である

#### ◆審査会コメント

協働事業を通して作成された冊子については、綿密な取材を通じた写真や記事などから、ボリュームのある、高い仕上がりのもとなっている。

事業全体について、計画したスケジュールで進まなかったことは、団体の組織としての体制に課題があると感じるので、今後事業を進める中で実行できる人材を増やし、組織として強化して行ってほしい。

また、事業を遂行する中で、計画実現の手法等を工夫するためにも、他団体や行政、関係者等と協議を行いながら、もっと連携して進めていく必要があったと感じている。

今後は、取材を通して得た情報などから、ターゲットを定め、できあがった冊子を効果的に活用していくことで、町人文化への理解を深め、長崎の町人文化を継いでいく活動が広がるよう期待する。